

全国協議会 ニュース

2015年10月1日発行 第280号

発行所：特定非営利活動法人
全国骨髓バンク推進連絡協議会
〒101-0031 東京都千代田区東神田1-3-4KT ビル3階
TEL：03-5823-6360 FAX：03-5823-6365
発行責任者：野村正満 題字：仲田順和（会長）
http://www.marow.or.jp E-Mail:office@marow.or.jp

「いのちの輝き展」ご利用を 遺作中心に貸し出し中

全国協議会が行っている「いのちの輝き展」を紹介します。血液難病と闘いながらも「生きたい」という強い意志を絵やメッセージに込めて手がけられた子どもたちの遺作が中心です。骨髓バンクを通じて生きる望みをつないだ患者さんとドナー（骨髓提供者）が交換した手紙、日ごろ骨髓バンクを支えてくださった方々から寄せられた応援メッセージも展示物となっています。

骨髓バンクの原点である「ひとりで多くの患者さんのいのちを救いたい」という思いを全国の皆さまに知っていただくためのものです。それぞれの作品に込められた思いを感じていただき、いのちの大切さを確認してもら

う機会にしてくだされば幸いです。これらの展示物はできるだけたくさんの方に見ていただけるよう、学校や企業、団体など独自に開催を希望する方にも貸し出しをしています。詳細は、全国協議会事務局にお問い合わせください。

●展示物一覧

| 展示物名 | 作品内容 |
|-----------------------|---|
| MAMOのメッセージ展 | 展示用のメッセージ、写真、解説、ご挨拶 |
| 患者とドナーのお手紙展 | お手紙展紹介、患者さんからのお手紙、ドナーからのお手紙、お手紙展案内板 |
| 「著名人のメッセージ」セット | 著名人メッセージ10枚 |
| 「いのちの輝き」セット1 | あやちゃんのお手紙10枚、MAMOのメッセージ10枚、患者とドナーのお手紙10枚、いのちの輝き展紹介、作品紹介 |
| 「いのちの輝き」セット2 | あやちゃんのお手紙5枚、MAMOのメッセージ5枚、患者とドナーのお手紙5枚、いのちの輝き展紹介、作品紹介 |
| 「いのちの輝きコンクール受賞作品展」セット | 読書感想文部門、短文部門A、B、C、アート部門A、B作品紹介 |
| 「あやちゃんの贈り物展」Aセット | 展示用の絵、主催者挨拶パネル、三瓶氏挨拶パネル、あやちゃんの経歴パネル、写真パネル、キャプション |
| 「あやちゃんの贈り物展」Bセット | 展示用の絵、主催者挨拶パネル、あやちゃんの年譜パネル、写真パネル、キャプション |

骨髓バンクの患者負担金値上げ 10月実施は「見送り」に

公益財団法人日本骨髓バンクは、2014年度に1億円を越す赤字を計上

したことから、今年度の経費削減案の一環として患者負担金を10月から値上げする予定でしたが、その実施を見送りました。「完全撤回」となったわけではないようですので、今後、どのような形で復活するか分かりませんが、全国協議会は引き続き「患者負担金の解消」を訴えていきます。見送り決定が臨時理事会（9月18日）での「非公開の場」でしたので、詳細は次号で取り上げる予定です。

白血病フリーダイヤル 0120-81-5929

毎週土曜日10時から16時まで、治療や闘病生活のお悩みの相談をお受けします。第2・4土曜日には専門医に直接相談できます。

ソニー生命がサポートしています。

白血病患者支援募金

募金箱の設置場所募集中！
ご協力をお願いします。



店頭や事務所などに募金箱を設置して、私たちの白血病患者支援を支えてください。集まった募金は、年に2回お届けする郵便振替用紙にてお振り込みをお願いしています。また、募金額については、協議会ニュースに、企業・団体・店舗名などと一緒に掲載させていただきます（匿名をご希望の場合は、匿名にて掲載いたします）。どうか皆さまの温かいご支援・ご協力をお願いいたします。

●常設型募金箱：組み立て式硬質プラスチック製

●簡易式募金箱：折りたたみ式プラスチック製

骨髓バンクの最新情報をお知らせする

骨髓バンク NOW

《財団マンスリー JMDP(9月15日発行)より抜粋》

■日本骨髓バンクの現状(2015年8月末現在)

| | 7月 | 8月 | 現在数 | 累計数 |
|---------|-------|-------|---------|---------|
| ドナー登録者数 | 2,487 | 2,285 | 453,589 | 646,706 |
| 患者登録者数 | 271 | 276 | 3,036 | 45,865 |
| 移植例数 | 123 | 103 | — | 18,592 |

■8月の区別ドナー登録者数

献血ルーム／566人、献血併行型集団登録会／1,648人、集団登録会／37人、その他／34人

注) 数値は速報値のため訂正されることがあります。

■8月の年齢別ドナー登録者数(現在数)

10代 2,729人／20代 70,425人／30代 143,516人／40代 186,247人／50代 50,672人

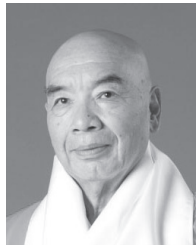
■8月の20歳未満の登録者137人

■8月末までの末梢血幹細胞移植(PBSCT)累計数：119件

新役員
自己紹介

頑張ります。よろしく!

全国協議会活動のさらなる充実・発展に向けて、7月に新たな体制がスタートしました。今号では、会長・理事長そして新理事に自己紹介をお願いしました。



会長
仲田順和

早いもので、会長職に就いてから丸2年が経過しました。昨年6月には、私が座主を務める京都・醍醐寺で大会が開催され、全国のボランティアの皆さまにお越しいただいたのが、つい昨日のように思い出されます。

本年は協議会設立25周年とあって、記念事業が繰り広げられましたが、日本縦断キャラバンの盛り上がりは、ホームページ上での各地の報告によって居ながらにして実感できました。醍醐寺でも五重塔近くにキャラバンカーを止め、その横で古式にのっとった桜の植樹をいたしました。北海道庁旧庁舎前での完走式に参加し、1万km余りを無事故で走破したキャラバンカーをねぎらうことができました。

さて、2期目を迎えることとなり、私なりの抱負を申し述べます。最大の課題は「財政基盤の確立」です。協議会は患者支援事業にも力を入れていますので、3基金をスムーズに運営するため、これまでも一般あるいは特定寄付をお願いしてまいりました。

財政基盤の確立に当たっては、そうした寄付はもちろんですが、精神的な支えにもなっていたきたいと考えているところです。その具体策が賛助会員へのお誘いなのですが、会費を負担していただくとともに、私たちの活動を内部から元気づけていただくことをお願いするものです。

そうした形で賛助会員を拡大してゆくことが、私たち全国協議会の活動の活性化につながりますので、私も先頭に立って頑張る所存です。



理事長
野村正満

今年、設立から25年の全国協議会、振り返ってみればかつてとはその姿を大きく変貌させています。各基金の運営を筆頭に、事業は確実に拡大しました。その一方で、加盟団体数は減少しているという現象に端的に表れているように、組織の行動力や活性度は著しく低下していると言っても過言ではないでしょう。拡大した事業を着実に運営していくためには、事務局体制の維持と充実は不可欠なのですが、それを支える財政が脆弱になってきていることは正直に認めざるを得ません。

出戻りとはいえ、全国協議会の責任ある立場の理事長を仰せつかって2年あまり、骨髓バンクやさい帯血バンクを健全に成長させていくためというこの団体本来の活動に加えて、組織の体力を増強させるために多くの時間を費やしてきました。財政基盤を確固たるものにするため、あらゆる方向から資金確保の手立てを考えて理事会は一元となって取り組んでいます。しかし、それはそう容易なことではないことはだれの目にも明らかだと思います。この取り組みの根幹となるものは改革した賛助会員制度の強力な推進です。ぜひとも賛助会員制度の充実のために、多くの皆さま方のご理解とご協力を頂戴したいと存じます。各地加盟団体の皆さまのご尽力で得られたものについては、地元の活動にその成果が反映されるような仕組みにもなっています。なにとぞ賛助会員拡大にお力添えをいただきたいと思ひます。

私も全国の骨髓バンクボランティア

の皆さまとともに、精いっぱい取り組んでまいりますことをここにお誓い申し上げます。

理事

内山景一郎



北海道ブロック推薦理事として加藤弦さんに替わり全国協議会の理事を務めさせていただくことになりました。北海道ブロックでは、財団が「17年問題」と言っている年齢超過登録抹消者の急増という問題が、すでに全国に先駆けて発生しています。また財団の委嘱を受けた調整医師の偏在という難問が、ドナー募集活動の壁となっています。

「患者さんとご家族のために」「ドナーさんのために」全国協議会として各地域からの力を一つにすることの大切さを思うからこそ、地域からの視点を大事にしたいと考えています。

理事としては地域での活動の意識を乗り越えなければなりません、各地域にしっかり目配りできるようにしていきたいと考えています。どうぞよろしくお願ひいたします。



理事

高野由美子

2005年に息子を急性リンパ性白血病で、骨髓移植の甲斐なく亡くした事が、ボランティアを始めたきっかけです。それまでは自分とは関係のない事だと思っていましたが、生死は常に背中合わせだという事を、息子を亡くして初めて知りました。その後すぐにドナー登録し、2009年に骨髓を提供することができました。ドナーを待つ患者の気持ちと、骨髓を提供するドナーの気持ちを経験させていただき、とても貴重な体験をさせていただきました。骨髓バンク命のアサガオにいがたでは副会長兼事務局をしています。今期、初めて全国協議会の理事を務め

させていただくこととなり、微力ではありますが協力させていただきたいと思っております。ドナー登録しやすい環境づくり、患者さんが安心して治療ができる環境を目指していきたいと思っております。



理事
若木 換

2015年度の理事に就任しました、若木換（あらた）です。公的骨髄バンクを支援する東京の会でボランティアを始めて20年になりますが、全国協議会の理事は初体験です。

全国協議会の役割とは何か。その一つは、各地の団体ではできない運動やムーブメントを作ること。今年の4月から6月までの2カ月間、全国協議会が企画した「日本縦断キャラバン」。ドナーが運転するキャラバンカーが全都道府県をリレーし、各地の赤十字血液センターや行政を表敬訪問する一大イベントでした。DAIGOが全国各地をつないだ2本のたすきを持って100キロマラソンでゴールする企画より、ドナーがつながる全国キャラバンの方が素晴らしかったと思うのはほくだけでしょか？このように各地団体ではできない企画を、全国協議会理事として考えたいと思っております。よろしくお願いたします。



理事
名川和志

私の誕生日は、ケネディ大統領暗殺日と（年月日とも）同じ。小学生の時から今も、ケネディの生まれ変わりと思っております。私が再生不良性貧血で、バンクを通じて移植したのは1995年1月、阪神大震災の3日後でした。実は1961年のこの日、ケネディが、アメリカの第35代大統領に就任した日でもあります。別に無理やりこじつけることはないのですが、ケネ

ディに関する日付が2つ重なるとは、自分でも驚きでした。

この度、数年ぶりに協議会の理事にカムバックしました。ケネディほどの偉大な人物になれないとしても、少しでも患者・家族の皆さまのお役にたてるよう、活動したいと思っております。

スノーバンク雪主募集 今年は2年ぶり「登録会」も

今年で5年目となる「SNOW BANK PAY IT FORWARD 2015」が11月7日(土)・8日(日)に東京・代々木公園イベント広場で開催されます。毎年たくさんの方を集客しており、今年は2日間共に献血併行ドナー登録会を開催



写真は昨年のドナー登録説明会

します。このイベントは一口2000円からの「雪主寄付」で成り立っています。是非SNOW BANKの継続のためにも皆さまの力をお貸しください。「雪主寄付」はSNOW BANKのHP (<http://sbpif.net/>)から行うことができます。

● 25周年記念事業へのご寄付

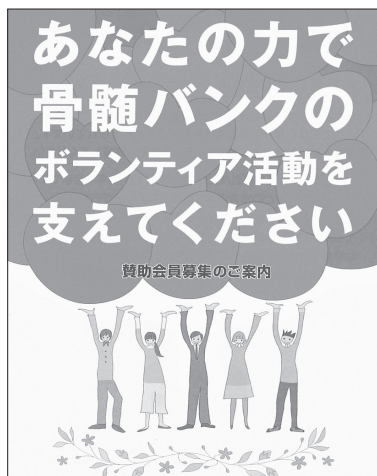
旭化成ファーマ株式会社
協和発酵キリン株式会社

10万円
20万円

アステラス製薬株式会社

20万円

賛助会員募集のお知らせ



● 賛助会員年会費 ●

- 特別賛助会員 1口：10万円（個人・法人）
- 一般賛助会員 1口：1万円（個人・法人）
- サポート会員 1口：2000円（個人）



新しくシンボルマークを作り、チラシ立てを作りました。事務所や店頭に置いてくださる団体を募集しています。詳しくは事務局までお問い合わせください。

造血幹細胞移植

来年度の概算要求 3.3億円増、23.9億円に

来年度の造血幹細胞移植対策関係の概算要求がまとまりました。総額23億9000万円で今年度比115.8%となっています。

新たに盛り込まれたのは造血幹細胞移植関連情報システム一元化経費（3億3200万円）で、医師や骨髄バンク・さい帯血バンクが適切に患者さんに対応できるよう、医療機関における造血幹細胞の適合検索機能を構築するなど造血幹細胞移植関連情報の一元化を実施し、システムのICT（情報通信技術）化によって迅速で適切な移植医療体制の推進を図るものです。

小児がん経験者支援活動 ティッシュ贈呈



「にこスマキャンプ2015夏」(NPO法人にこスマ九州主催)が8月22日(土)、23日(日)に県立ふれあいの家南筑後(福岡県八女市)で開催されました。

キャンプには骨髄移植を含め様々な治療、病気と向き合う子どもたちが参加しています。お天気に恵まれた2日間、26人の子ども達と共にバーベキューや流しそうめん、レクリエーション等を通じて生き生きと活動が行われました。

山口の会では毎年ハローキティティッシュを贈呈することで、にこスマ九州の活動を応援と、骨髄バンクの啓発を行っています。キャンプ中贈呈の時間を頂き、今回120個プレゼントしました。毎回とても好評です。今年もにこスマキャンプを通じて、子ども達をはじめ多くの方々に骨髄バンクを知って頂いた貴重な活動となりました。

(骨髄バンクを支援する山口の会・猶 絵美)

秋の肉フェスに参加

9月18日(金)から27日(日)の10日間、肉料理の有名店や各国の肉料理店のブースが30軒も並ぶ肉のイベント、秋の肉フェス(東京お台場で開催)に当協議会も参加しました。当会PR



協議会のタスキをかけたくーちゃん

ブースの中には「設立25周年記念事業日本縦断キャラバン」の写真を展示し、募金いただいたかたには、もれなくおもちゃの当たる三角くじを引いてもらうなど、にぎやかな雰囲気となり

2015 骨髄バンク 推進全国大会に参加

9月12日(土)、日本骨髄バンク及び高知県骨髄バンク推進協議会主催の全国大会が高知市高新RKCホールで開かれ、たくさんの学生さんや地元ライオンズクラブの方々を含め、会場はほぼ満席で地元協議会の熱意が伝わってきました。はじめに各関係機関からそれぞれ挨拶があり、感謝状の贈呈や骨髄バンクの事業報告がありました。第2部では高知大学医学部の専門医と看護師さんから骨髄移植の現場を分かりやすく解説され、第3部では土佐女子高校の心洗われる合唱のあと、実際に提供したドナーと移植を受けた患者さんからの体験談で会場に骨髄バンクへの理解と登録を呼びかけました。



元阪神タイガースの四国IL藤川球児投手がサプライズ登場すると会場は盛り上がり、当時高校生で病气と闘った戸田浩司さんとのトーク=写真=で会場を沸かせました。

高知県骨髄バンク推進協議会・依光聖一会長の閉会挨拶でプログラムが終了したのち、ドナー登録会も開催され、多くの参加者が登録受付のテーブルで熱心に説明員の説明に耳を傾けていました。

(とくしま骨髄バンクを支援する会・池田良一)

日赤から子ども向け冊子



日本赤十字社から、小学生向け造血幹細胞事業普及啓発冊子『「ドナー」ってなに? 病気の人を助ける大切なしくみ』の初版が発行さ

れました。マンガの形式で、小学生のお子さんでもドナー登録の必要性が理解できるよう、わかりやすく描かれています。

事務局から当協議会の各加盟団体へ、見本としてお届けしておりますが、さらにご入り用の際は事務局にてご注文を取りまとめています。なお、当協議会の加盟団体に所属していられない場合は、各地の血液センターでご覧いただくか、日本赤十字社のホームページで内容をご確認いただけます。

ました。初日となる本日は、前日からの雨の影響で来客数は少なかったのですが、シルバーウィーク期間中、たくさんのかたに足を運んでいただけるのではと思います。

【2015グリーンリボンランニングフェスティバル】10月12日(月)に駒沢公園で開かれます。移植者とドナー、一般ランナーが共に走るイベントで、今年も骨髄バンクのタスキを掛けて走ります。

心からのご寄付に感謝申し上げます ●8月21日~9月20日(敬称略)

| | | |
|--------------------------------|-----------------|---------------------|
| 金寿司 現金 10,000円 | 中山 雅雄 現金 2,000円 | アリスいわた薬局現金 2,463円 |
| ノーレート麻雀ネットワークニューロン 現金 222,133円 | ●佐藤さち子患者支援基金 | ホテルタガワ 現金 2,448円 |
| 飛田 行康 現金 15,000円 | ブルデンシャル生命保険株式会社 | 医療法人社団 今 内科消化器科医 |
| 塩谷 泰人 現金 3,000円 | 三森 裕 現金 30,000円 | 院 今 哲二 現金 10,933円 |
| 藤波 敬子 現金 10,000円 | 嶋津 桂子 現金 5,000円 | とがし薬局 現金 27,040円 |
| 野澤 登美子 現金 10,000円 | 匿名 現金 2,000円 | あんがいおまる一座現金 2,064円 |
| 匿名 現金 5,000円 | ●志村大輔基金 | 有限会社 さかえ薬局現金 3,312円 |
| ●白血病患者支援基金 | 嶋津 桂子 現金 5,000円 | 株式会社 洋伸 現金 7,620円 |
| 会津テニス協会・ゼビオ株式会社・丸善商事株式会社 | ●こうのとりマリン基金 | 公益社団法人 山形青年会議所 |
| 現金 50,000円 | 嶋津 桂子 現金 5,000円 | 現金 398円 |
| 嶋津 桂子 現金 5,000円 | ●募金箱 | イオンマリニピア専門館 |
| 渡辺 美由紀 現金 10,000円 | 株式会社ルーテック・サクライ | 現金 4,386円 |
| | 現金 4,918円 | 株式会社 モロオ 現金 4,132円 |
| | 今治市役所 現金 1,568円 | 有限会社 スパゴ 現金 5,876円 |

活動資金の支援をお願いします 銀行口座 三井住友銀行 新宿通支店 普通 5666655 郵便振替口座 00150-4-15754

口座名: 特定非営利活動法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会